

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

砂防設備の整備

(熊本県)

○土石流危険渓流の土砂災害から下流部の人家、耕地、公共施設を保全し、河川への土砂流出を抑制するため、砂防えん堤等を設置します。

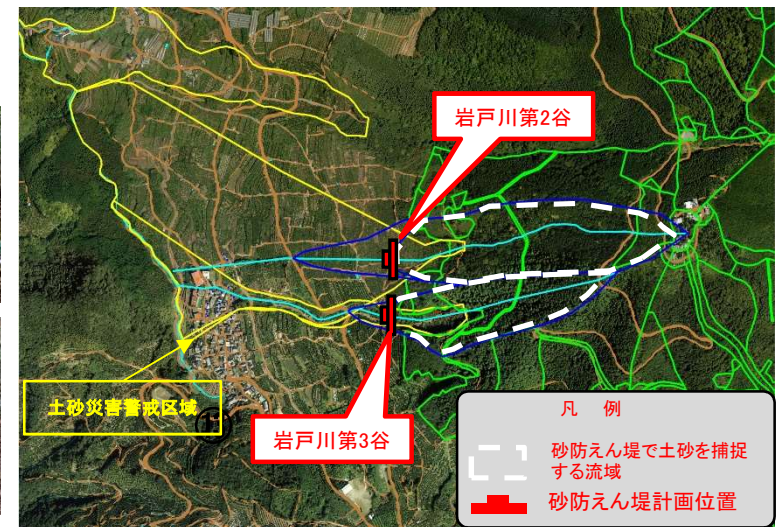
岩戸川第2谷、第3谷砂防堰堤整備

■R6年度の取組内容、進捗状況

・第2谷の用地交渉を進めるとともに管理用道路工事に着手。



事業箇所：熊本市西区松尾町平山



対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
土砂洪水氾濫対策	砂防設備の整備	R5時点		目標

■令和7年度の取組予定

・第2谷に係るに用地交渉を行うとともに引き続き管理用道路の工事を進めていく予定。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

砂防設備の整備

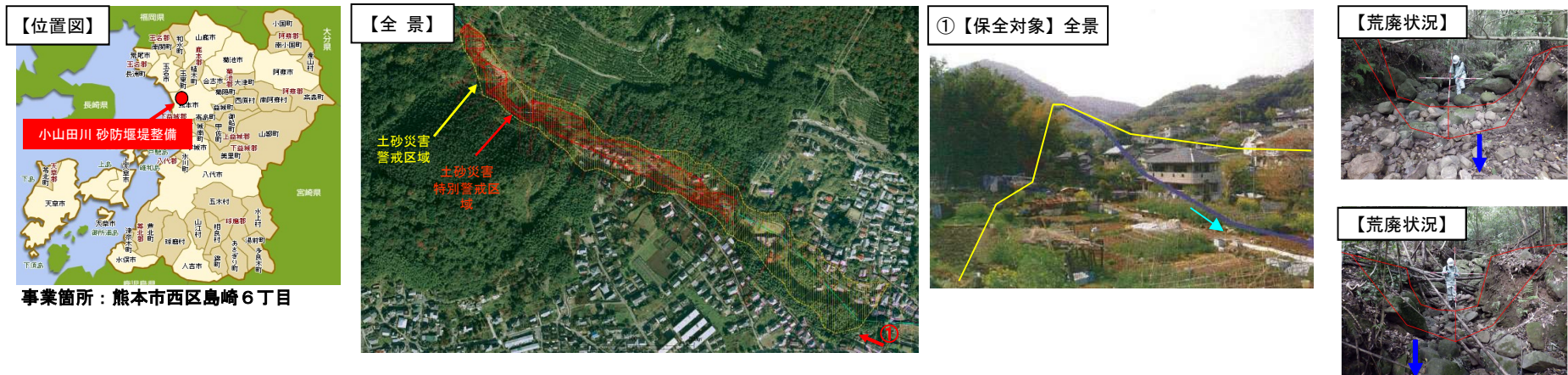
(熊本県)

○土石流危険渓流の土砂災害から下流部の人家、耕地、公共施設を保全し、河川への土砂流出を抑制するため、砂防えん堤等を設置します。

小山田川砂防堰堤整備

■R6年度の取組内容、進捗状況

・砂防堰堤の位置の選定に向けて用地境界等を確認するために関係機関・関係者と協議等を踏まえて課題等を整理。



対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
土砂洪水氾濫対策	砂防設備の整備	R5時点		目標

■令和7年度の取組予定

・用地境界等の課題を踏まえ、今後の事業の取り組みについて検討予定。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

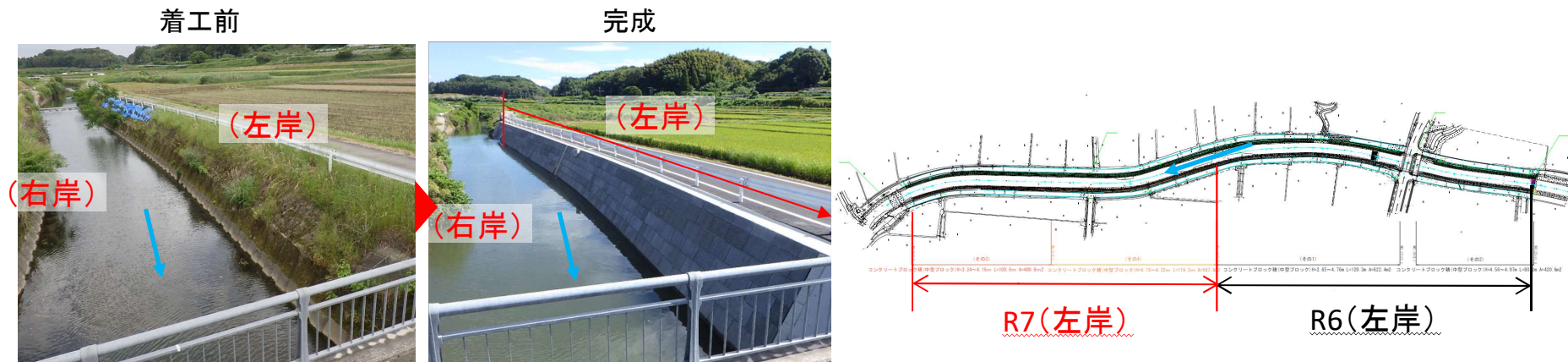
河川改修

(熊本県)

○浸水被害低減のためのハード対策として、河道拡幅、堤防強化、橋梁架替、堰改修等を実施します。

■R6年度の実施内容、進捗状況

○井芹川 護岸工事



対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
河川改修	河道拡幅、堤防強化 橋梁架替、堰改修等	<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; display: flex; align-items: center;"> R6時点 目標 </div>		

■令和7年度の実施予定

○井芹川(戸坂地区)・(立福寺地区)で護岸整備予定

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

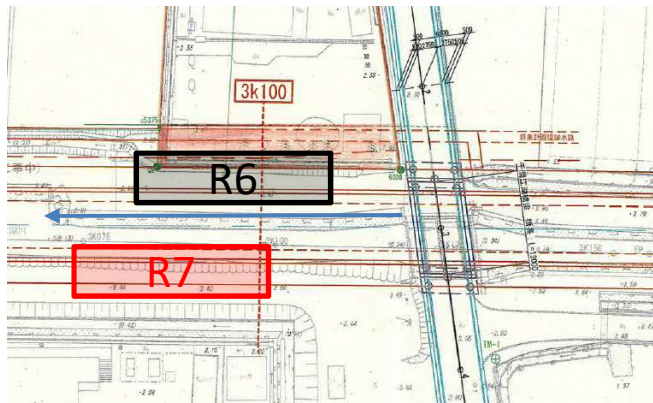
河川改修

(熊本県)

○浸水被害低減のためのハード対策として、河道拡幅等を実施します。

■R6年度の実施内容、進捗状況

○千間江湖 護岸改修を実施中(国道501号下流(右岸)) 施工前



対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
河川改修	河川改修	R6時点		目標

■令和7年度の実施予定

国道501号下流(左岸)の河川改修を実施予定

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

橋梁架替

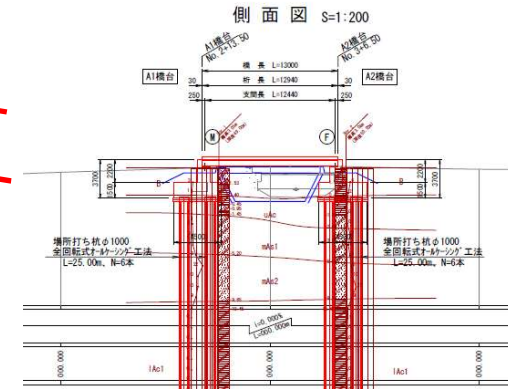
(熊本県)

○浸水被害低減のためのハード対策として、橋梁架替等を実施します。

■R6年度の実施内容、進捗状況

○千間江湖

橋梁施工中の迂回路となる区域の借地交渉を実施



対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
橋梁架替	橋梁架替	R6時点		目標

■令和7年度の実施予定

橋梁施工中の迂回路となる区域の借地交渉

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・
減らすための対策

河川改修・堰改築

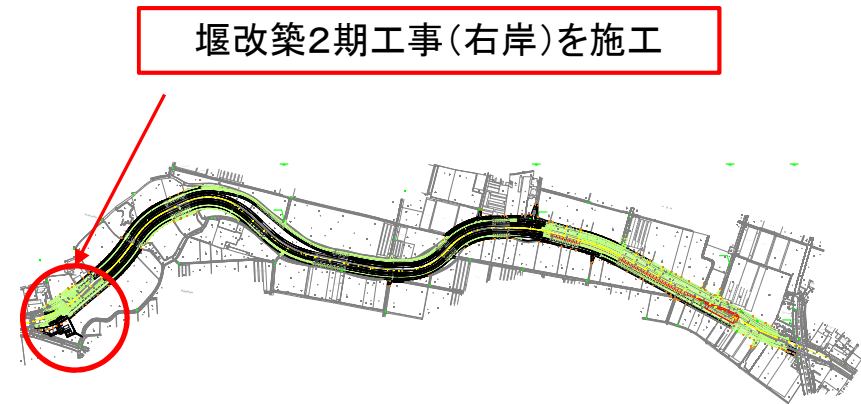
(熊本県)

○浸水被害低減のためのハード対策として、河道拡幅、堰改修等を実施します。

■R6年度の取組内容、進捗状況

○除川

堰改築2期工事(右岸)の施工、取水樋門詳細設計を実施



対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
河道拡幅	堰改築	R6時点		目標

■令和7年度の取組予定

堰改築2期工事(右岸)の施工
ゲート工事の施工

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

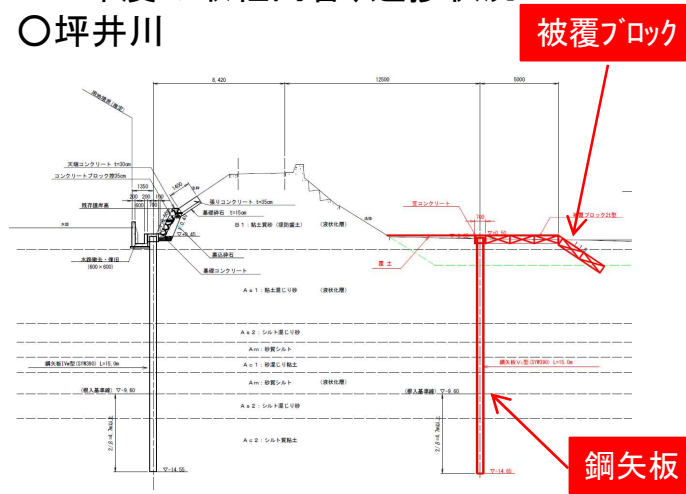
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

堤防強化

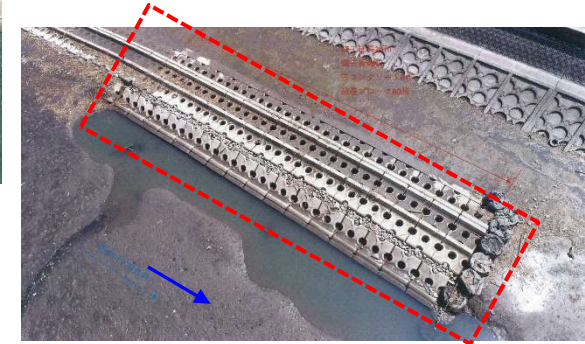
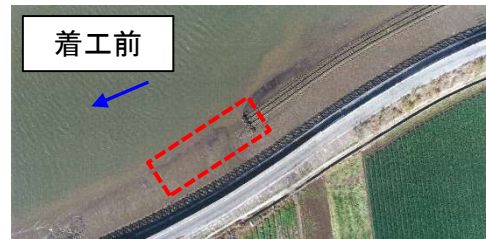
(熊本県)

○浸水被害低減のためのハード対策として、堤防強化等を実施します。

■R6年度の実施内容、進捗状況 ○坪井川



堤防強化(耐震)工事(左岸)L=約50mの施工



対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
堤防強化	堤防強化	R6時点	目標	目標

■令和7年度の実施予定

堤防強化(耐震)工事(右岸)L=約90mの施工

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河道掘削

(熊本県)

○洪水の流下に支障となる河道内の堆積土砂（樹木伐採含む）を掘削し、氾濫防止を図ります。

■R6年度の実施内容、進捗状況

○坪井川（約2,700^m）、井芹川（約1,600^m）、立福寺川（約100^m）、河内川（約1,100^m）の堆積土砂掘削工事を実施



坪井川(施工前)



坪井川(施工前)



井芹川(施工前)



井芹川(施工後)

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
河道掘削	河道掘削	R6時点	目標	目標

■令和7年度の実施予定

継続して堆積土砂が確認された河川（坪井川、井芹川等）で掘削を進める。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

遊水地の掘削・樹木伐採

(熊本県)

○貯水池内に繁茂した雑木等を伐採し、計画貯水容量を確保します。

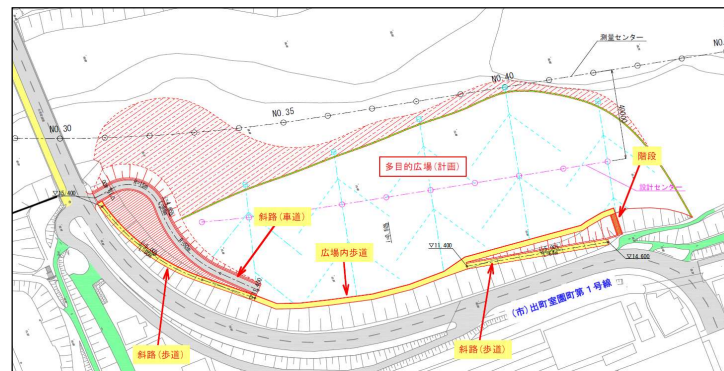
■R6年度の実施内容、進捗状況

○遊水地の効率的・持続可能な維持管理ができるよう、地域住民との意見交換会を踏まえ、利活用施設(広場等)の再配置計画を検討し、その計画に基づき、一部工事に着手した。

○また、昨年度導入した草刈り機で堤防除草を実施した。



(清水工区・多目的広場計画(案))



(草刈り状況)



対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
貯水池内の掘削・樹木伐採	貯水池内の掘削・樹木伐採	R6時点		目標

■令和7年度の実施予定

○R6年度に発注した工事を進め、工事に支障となる樹木を伐採する。

○継続して堤防除草を実施する。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策

土砂災害警戒区域等の指定

熊本県

○住民の生命を守るため、土砂災害が発生する恐れがある土地の区域を指定しています。

■R6年度の実施内容、進捗状況

・これまでに指定した箇所において、施設整備などを踏まえた区域の見直しを作業を進めた。


土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)

- 急傾斜地の崩壊
 - イ 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
 - ロ 急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域
 - ハ 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍(50mを超える場合は50m)以内の区域
- 土石流
 - イ 土石流の発生のおそれのある溪流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域
- 地滑り
 - イ 地滑り区域(地滑りしている区域または地滑りするおそれのある区域)
 - ロ 地滑り区域下端から、地滑り地塊の長さに相当する距離(250mを超える場合は250m)の範囲内の区域

土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)

急傾斜地の崩壊等に伴う土石等の移動等により建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物が土石等の移動等に対して住民の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれのある損壊を生ずることなく耐えることのできる力の大きさを上回る区域。

※ただし、地滑りに係る土石等の移動等により建築物に作用する力の大きさについては、作用した時から30分間が経過した時において作用するものとされている。また、地滑りに係る特別警戒区域は地滑り区域の下端から60mの範囲内で指定することとされている。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	土砂災害警戒区域等の指定	 R5時点 → 目標		

■令和7年度の実施予定

・土砂災害警戒区域等に関する問い合わせへの対応や必要な箇所において適宜見直しなどに取り組む。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

流域の貯留機能向上

(熊本県)

○田んぼダムの取組みの普及・拡大に向け、「田んぼダムマイスター※」の育成やパンフレット等による普及・啓発を行い、地域の農家や行政等の協働による取組みの実践に繋がります。

※田んぼダムの取組みの普及・拡大に向け、各地域において普及・拡大を担っていただく人材のこと

■R6年度の取組内容、進捗状況

○県内5会場で研修会を開催し、約700名※(うち熊本市関係者 約60名が参加)を超える方が「田んぼダムマイスター」に認定(一部、既認定者を含む)。

※「田んぼダムマイスター」の認定は個人単位ではなく、組織単位となっている

○「田んぼダムマイスター」の育成や、市町村の広報誌等に掲載し、普及・啓発を実施。



田んぼダムマイスター育成研修会
(熊本市会場)



田んぼダムパンフレット

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能向上	水田の貯留機能の向上 (田んぼダムの取組等)	R5時点		目標

■令和7年度の取組予定

- ・引き続き「田んぼダムマイスター」の育成及び普及・啓発等を実施予定。
- ・球磨地域等の取組事例を関係市町や土地改良区等に情報提供予定。
- ・関係者の意向を踏まえ、多面的機能支払交付金や補助事業(農地耕作条件改善事業)を活用した取組みを推進予定。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

森林の有する公益的機能の発揮に向けた森林整備・保全(水源涵養機能等の強化)

【熊本県】

○森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、熊本圏域二級河川上流域の森林において、間伐等の森林整備を実施しました。(実施市町村：熊本市)

■R6年度の実施内容、進捗状況



保育間伐(整備前)



保育間伐(整備後)

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
・森林の整備・保全(保育間伐、間伐、枝打ち、植付、下刈等)	保育間伐	R6時点		目標

■令和7年度の実施予定

森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、山地災害危険地区や熊本圏域二級河川上流域等の森林を主体として、再生林や間伐等の森林整備を実施予定。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留施設設置指導

(熊本市)

- 一定規模以上 (5000㎡) の開発行為に対する雨水貯留施設(調整池)の設置を推進
- 一定規模以上 (1000㎡) の開発行為に対する雨水浸透ます設置を推進
- 透水性舗装を推進

■R6年度の実施内容、進捗状況

開発許可申請に対し雨水流出抑制指導を行った。

開発区域の面積5,000㎡以上



調整池の設置例

開発区域の面積5,000㎡未満



開発行為に対する新設道路内
雨水浸透樹の設置例

敷地内からの雨水流出抑制対策



駐車場内の透水性舗装施工例

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能向上	一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留施設設置指導	<p>R6時点 → 目標</p>		

■令和7年度の実施予定

事業を継続して実施していく。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留施設の設置補助

(熊本市)

○地下水の涵養対策、節水対策及び雨水の流出抑制による水害軽減を図るため、雨水浸透ますや雨水貯留タンクの設置を推進する。

■R6年度の実施内容、進捗状況

【雨水浸透ます】

令和6年度において、令和6年12月末時点で、雨水浸透柵12基※の設置補助を実施した。

【雨水貯留タンク】

令和6年度においては、令和6年12月末時点で、雨水貯留タンク12基、浄化槽転用3基※の設置補助を実施した。



※熊本市域全域



雨水浸透ますチラシ



家庭用雨水貯留タンク

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能向上	雨水貯留施設の設置補助	R6時点		目標

■令和7年度の実施予定

事業を継続して実施していく。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策

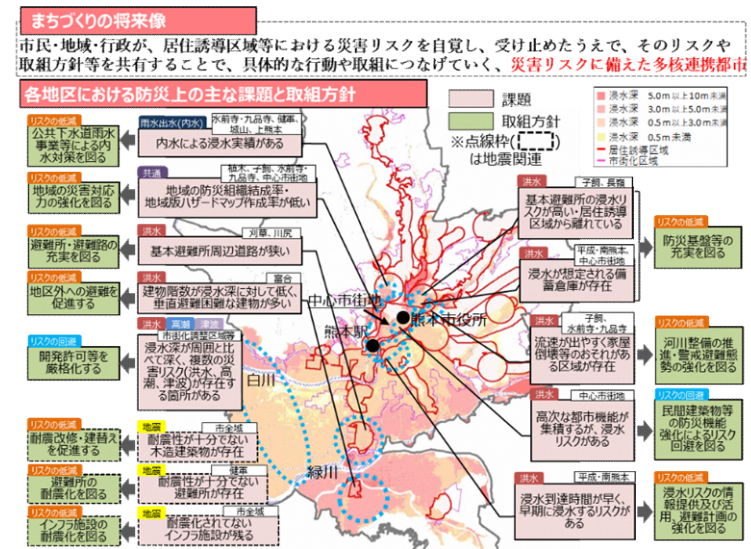
立地適正化計画の策定(防災指針の追加を含む)、内外水一体型のリスクマップをふまえた立地適正化計画の見直し

(熊本市)

- 立地適正化計画に防災指針を追加し、災害リスクに備えた多核連携都市を目指す。
- 居住誘導区域を中心に防災部局等の保有するハザード情報と都市部局が保有する都市の情報を組み合わせ災害リスクを分析。
- 各地区の防災上の課題を踏まえ、関係部局と連携し災害リスクの回避や低減を図るための取組を総合的に組み合わせ展開。

■R6年度の取組内容、進捗状況

- ・令和3年3月の立地適正化計画改定により追加した“防災指針”を活用し、防災部局や市民部局などと連携した災害リスクの周知や各種取組の推進を図った。
- ・令和6年度に公表された内外水一体型のリスクマップも踏まえ、立地適正化計画の“防災指針”の見直しを行っている。



対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定(防災指針の追加を含む)	R6時点		目標

■令和7年度の取組予定

- 事業を継続して実施していく。
- また、防災指針を含む立地適正化計画の見直しを行う。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策

土砂災害特別警戒区域からの移転促進

(熊本市)

熊本県では土砂災害特別警戒区域（以下、レッドゾーン）内に居住する方々を安全な区域へ住宅移転させる「土砂災害危険住宅移転促進事業」を平成27年に創設しており、本市においても「熊本市土砂災害危険住宅移転促進事業」を創設し、住宅移転を促進している。

■R6年度の取組内容、進捗状況

令和6年度において、令和6年12月末時点で1件申請※があり、レッドゾーン(他市町村)から熊本市内に移転している。

※熊本市域全域

土砂災害危険住宅移転促進事業とは?
～土砂災害の心配のない安全・安心な暮らしを実現!～

- 熊本県では、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)内に居住する方々の安全な区域への住宅移転を促進する「土砂災害危険住宅移転促進事業」を創設しました。
- ご自宅やご家族の家が土砂災害特別警戒区域内かどうかを次の場所でご確認ください。(各地域課・国土部・熊本土木事務所、県ホームページ「熊本県土砂災害危険住宅移転促進事業」)

レッドゾーンとは 土砂災害特別警戒区域(建物や設備が、往々に大きな被害を受けるおそれがある区域)
イエローゾーンとは 土砂災害警戒区域(土砂災害のおそれがある区域)

補助対象
レッドゾーン内にある建築物で、現在お住まいの住宅(賃貸住宅を除く)

補助対象外
○現在お住まいの住宅の売却
○県内の安全な区域(レッドゾーン、イエローゾーン外)への移転
※市町村の交付要項により「同一市町村内への移転」などに限定される場合があります。

補助内容
○移転先住宅の建設・購入費、リフォーム費
○移転経費(自動車移転費等)
○アパート等の賃貸費(1年間)
○現在お住まいの住宅の売却費等

移転先の例
新築(中古)住宅、賃貸住宅、マンション・賃貸アパート、サービスマン専用賃貸住宅、など

お申し込みは!
住宅移転をお考えの際は、お住まいの市町村(申請窓口)または熊本県の担当課へご相談ください。
熊本県住宅移転 〇〇課

最高300万円
※(1戸あたり)補助率(移転促進率)は申請内容により異なります。

土砂移転チラシ

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	土砂災害特別警戒区域からの移転促進	R6時点		目標

■令和7年度の取組予定

事業を継続して実施していく。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策

がけ地近接等危険住宅移転事業

(熊本市)

〇がけ崩れ、土石流、地すべり等の危険から住民の生命の安全の確保するため、災害危険区域内に居住する人に対して、補助金を交付し、危険住宅からの移転を促進する。

■R6年度の実施内容、進捗状況

令和6年度において、令和6年12月末時点で、補助金交付：1件である。

●事業対象住宅(危険住宅)

次の(1)から(3)のいずれかの区域に存する既存不適格住宅又は(1)から(5)のいずれかの区域に存する住宅のうち、災害等により市が移転勧告、是正勧告、避難勧告、避難指示等を行ったもので、がけ地の崩壊等による危険が著しいもの。

- (1) 災害危険区域(急傾斜地崩壊危険区域)
- (2) がけ条例により建築を制限している区域
- (3) 土砂災害特別警戒区域
- (4) 土砂災害特別警戒区域に指定される見込みのある区域
- (5) 事業着手時点で過去3年間に災害救助法の適用を受けた区域

●補助金交付要件

これまで住んでいた住宅を除却し、跡地に住宅等を建築しないこと。

●補助対象経費・補助限度額

経費	経費の内容	補助限度額
除却等費	危険住宅の撤去、動産の移転、仮住居、跡地整備費等に要する経費	1戸あたり97万5千円
建物助成費	危険住宅に代わる住宅の建設、購入及び改修をするために要する資金を金融機関等から借り入れた場合において、当該借入金利子に相当する額の経費	1戸当たり421万円 (建物325万円、土地96万円) ※特殊土壌地帯 1戸当たり731万8千円 (建物465万円、土地206万円、敷地造成60万8千円)

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	がけ地近接等危険住宅移転事業			

■令和7年度の実施予定

事業を継続して実施していく。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策

中心市街地における、老朽建築物の建替え促進による防災機能の強化

(熊本市)

- まちなか再生プロジェクトは、容積率割増等の3つの取組により、老朽建築物の建替え等を促すとともに、併せて、空地を生み出すことで災害時の避難・活動空間を確保するなど、災害に強い上質な都市空間を創出。
- 財政支援の取組では、水害時でも建物の機能が確保されるよう電気設備等の浸水対策※を図ることを条件としている。
※浸水想定深以上に、電気設備を配置すること等。

■R6年度の取組内容、進捗状況

○“まちなか”における建替え件数※¹の目標として、10年※²間で100件※³を掲げている

※1: 店舗(ホテル含む)・事務所を含む建築実績

※2: 令和2年4月1日～令和12年3月31日

※3: 熊本地震前の、まちなかの一定規模以上の建物の新築件数が年5件。これを、倍増させる。(5件×2×10年)

○令和2年度から令和5年度の実績は、まちなか再生プロジェクトを活用したものが10件、その他が17件。合計27件。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期 (R2～R6)	中期 (R7～R11)	中長期
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	中心市街地における老朽建築物の建替え促進による防災機能の強化	R6.3時点 27件	R11目標 100件	

■令和7年度の取組予定

事業を継続して実施していく。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

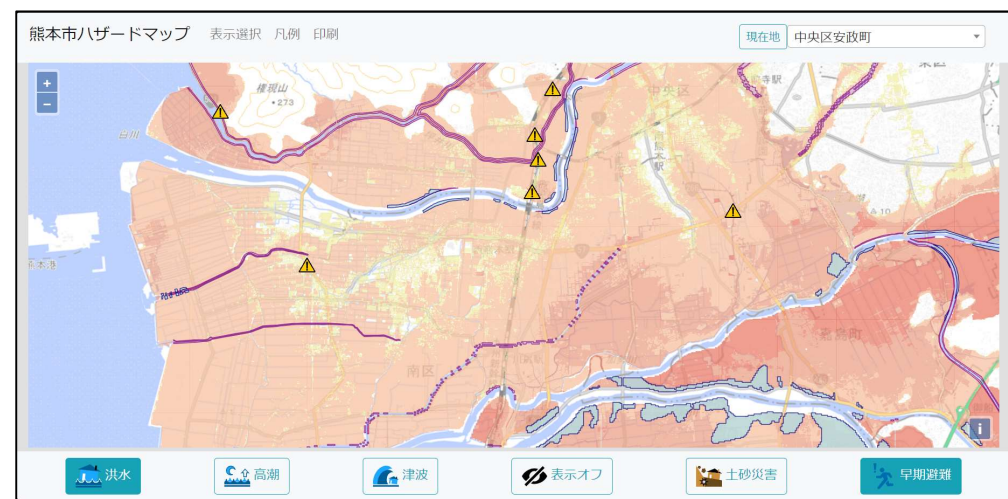
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

熊本市ハザードマップ等を活用した情報発信

(熊本市)

- 昨年12月の白川浸水想定区域図等の変更に伴い、今年3月に熊本市ハザードマップ（WEB版）を更新。
- 家屋倒壊等氾濫想定区域の設定及び道路冠水想定箇所、地下街・地下空間施設等の情報を新しく追加
- 上記ハザードマップの活用については、出水期前に本市広報誌及びマスメディアを活用して周知啓発を行った

■R6年度の取組内容、進捗状況



令和7年3月31日に熊本市ハザードマップを更新

出水期前に市政だより(6月号)で重点的に広報

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
土地の水害リスク情報の充実	熊本市ハザードマップ等による周知啓発	R6時点		目標

■令和7年度の取組予定

熊本市ハザードマップ(スマートフォン版)の運用・更新、出水期前の積極的な周知啓発

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

内水浸水想定区域図の公表

(熊本市)

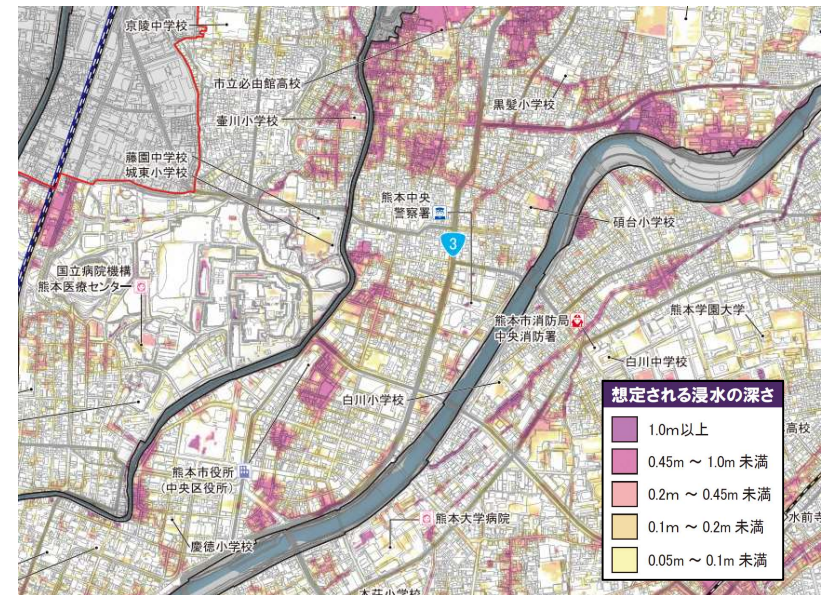
- 令和6年10月、本市ホームページ上に内水浸水想定区域図を公表。
- 内水氾濫による浸水区域や浸水の深さ等、住民の避難や防災行動に繋がる情報を提供することで、浸水被害の最小化を図る。

■R6年度の取組内容、進捗状況

本市ホームページ上に内水浸水想定区域図を継続して公表した。

・今回作成したマップは、想定最大規模の大雨があった際、水路や雨水管から雨水が溢れて内水氾濫が発生した場合に想定される浸水区域や浸水深等を浸水シミュレーションで確認し図化したもの。

項目	内水浸水想定区域図の概要
作成範囲	熊本市下水道計画区域（雨水） 10,796ha
降雨条件	1時間雨量153mm ※九州北西部地区の想定最大規模降雨
河川の水位	計画高水位 又は 吐口周辺の最低堤防高 ※外水氾濫は考慮しない。
浸水シミュレーションの計算手法	簡易モデル（管渠モデル省略） ※水路情報や浸水実績から各排水区の排水能力を設定した解析モデルを作成。



内水浸水想定区域図（中央区） 抜粋

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	内水浸水想定区域図の公表	R6時点		目標

■令和7年度の取組予定

事業を継続して実施していく。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

くまもと「水」検定

(熊本市)

○地下水の仕組みや水に関する歴史・文化などを楽しく学び、地下水保全を担う人材育成や「地下水都市熊本」の魅力づくりにつなげていくことを目的に「水」に関するご当地検定を実施。

■R6年度の取組内容、進捗状況

令和6年度までに1～3級を約67千人が受験し、約56千人が合格した。

- ・平成20年度から開始した全国初の「水」に関するご当地検定
- ・1～3級を設定し、誰でも受験することが可能(受験料無料)
- ・合格者には1～3級に応じた色の認定証を交付 ※1
- ・小・中・高等学校を中心に出席講座や団体受検の推奨も実施



※1 認定証(1級:ゴールド、2級:シルバー、3級:ブルー)

第15回くまもと「水」検定3級試験問題

問25 ★
 くまもとでは降った雨を地下に浸透させる「雨水浸透ます」や雨水を貯めて洗車や庭の水やりに利用する「」の購入・設置に補助金を交付している。これらは流域治水として防災にもつながる。に入る言葉は？

※流域治水・・・大雨による災害が多く発生する中で、川だけでなく、雨水が川に集まってくる地域や、川があふれ住宅などが水につきりそうな川の近くの地域も一緒に、みんな(国・県・市町村・企業・住民など)が協力して水災害対策を行うという考え方。

ア 水害対策タンク イ 雨水貯留タンク ウ 治水タンク

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域治水の情報発信	くまもと「水」検定	R6時点		目標

■令和7年度の取組予定

事業を継続して実施していく。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

下水道雨水管渠の整備

(合志市)

○下水道雨水管渠の整備

■R6年度の取組内容、進捗状況

工事発注・着工

【工事概要】

施工延長 L=246.72m

(推進工法L=242.14m)

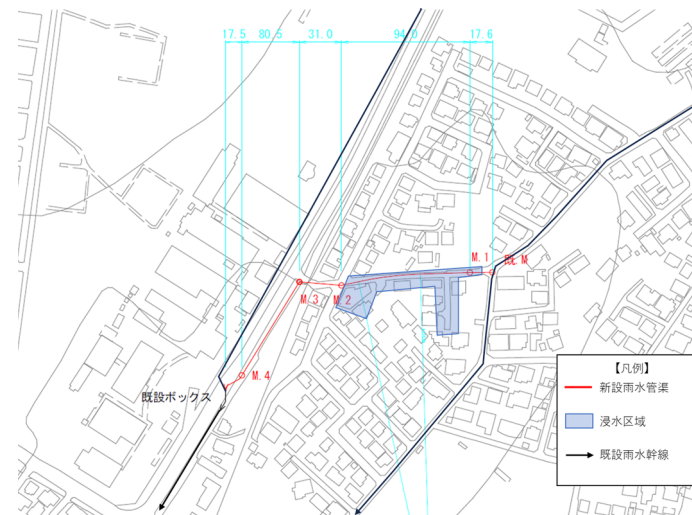
管種・管径 ヒューム管φ1200mm

組立5号マンホール 1基

組立4号マンホール 2基

組立1号マンホール 1基

角形人孔 1基



対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
坪井川水系堀川の流域にある黒石雨水幹線集水区域浸水対策として、下水道雨水幹線のバイパス管整備により、浸水被害の解消を図る。	R4年度：設計業務委託を実施し完了 R5年度：工事発注・工事請負契約 R7年度：工事完了	R7時点	目標	

■令和7年度の取組予定

工事完了見込み

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地の水害リスク情報の充実

(合志市)

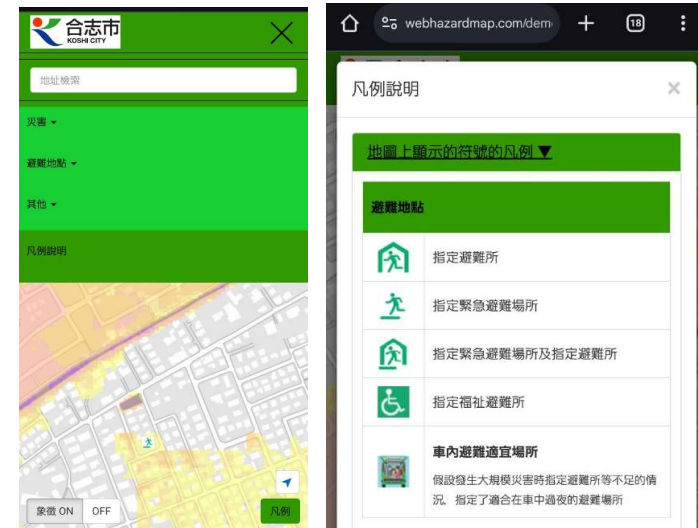
○ハザードマップの更新

■R6年度の取組内容、進捗状況

○多言語対応機能の追加

外国人転入者の増加に伴い、市のWeb版ハザードマップに多言語対応機能を追加した。

対応言語：英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語



ハザードマップ(繁体語)

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
・ハザードマップの内容の更新(随時)	・多言語対応機能の追加	R6時点		目標

■令和7年度の取組予定

・Web版ハザードマップの情報更新(警戒区域の更新等)

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難体制等の強化

(合志市)

○総合防災訓練の実施

■R6年度の取組内容、進捗状況

○黒石コミュニティを中心に隣接する行政区からの参加を得て開催

- ・大規模地震を想定した訓練（1次避難所⇒2次避難所）
- ・自衛隊車両等による避難行動支援者の移送検証
- ・社会福祉協議会による福祉避難所及びボランティアセンターの運営訓練
- ・テントの組立、マンホールトイレ・かまどベンチの設置要領を訓練
- ・消防署による煙体験、消火器体験、LIVE119の紹介



煙体験



マンホールトイレの組立



福祉避難所の開設



避難行動要支援者移送訓練



消防車両の展示

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
・総合防災訓練の実施 (毎年実施)	・災害対策本部訓練 ・消火訓練 ・避難所開設訓練 ・避難所運営訓練 ・福祉避難所開設訓練 ・避難行動要支援者移送訓練 ・装備品展示、防災訓練	R6時点		目標

■令和7年度の取組予定

- ・野々島コミュニティ(野々島防災拠点センター)を中心に総合防災訓練を実施予定

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

地域防災力の強化

(合志市)

○防災士の養成 ○SP防災士プロジェクトの開始（基幹要員の育成） ○自主防災組織の設立促進

■R6年度の取組内容、進捗状況

○防災士の養成【講座を菊池管内2市2町で持ち回り開催：R6菊池市】

- ・菊池市泗水公民館で養成講座を開催
- ・2市2町の受講者数90人（うち合志市の防災士資格取得者数30人）
- ・合志市では「合志市防災士連絡協議会」への加入を条件に教材費や受験料を補助し、会員獲得に取り組んでいる。（185⇒**215名**）



○SP防災士プロジェクトの開始【基幹要員の育成】

- ・防災リーダーの育成及びスキルアップのための指導者育成を目的
- ・R6年度は、基幹要員8名に対し、1年間24時間訓練を実施
- ・「ぼうさいこくたい」において取り組み紹介



○自主防災組織の設立促進【新設2】組織率 91.4%

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
防災士の養成(毎年実施)	・R4年度から大津町を加えた菊池管内2市2町で開催	R6時点		目標
SP防災士の育成	・R6年度からプロジェクト開始、基幹要員の育成修了	R6時点		目標

■令和7年度の取組予定

- ・防災士養成講座(2市2町合同開催【合志市担当】)により資格取得者300人(現在215人)を目標に育成する。
- ・SP防災士、第一期生に対する訓練開始
- ・自主防災組織未設置の行政区に対し、資料の配布、必要に応じ出前講座等により設置促進

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

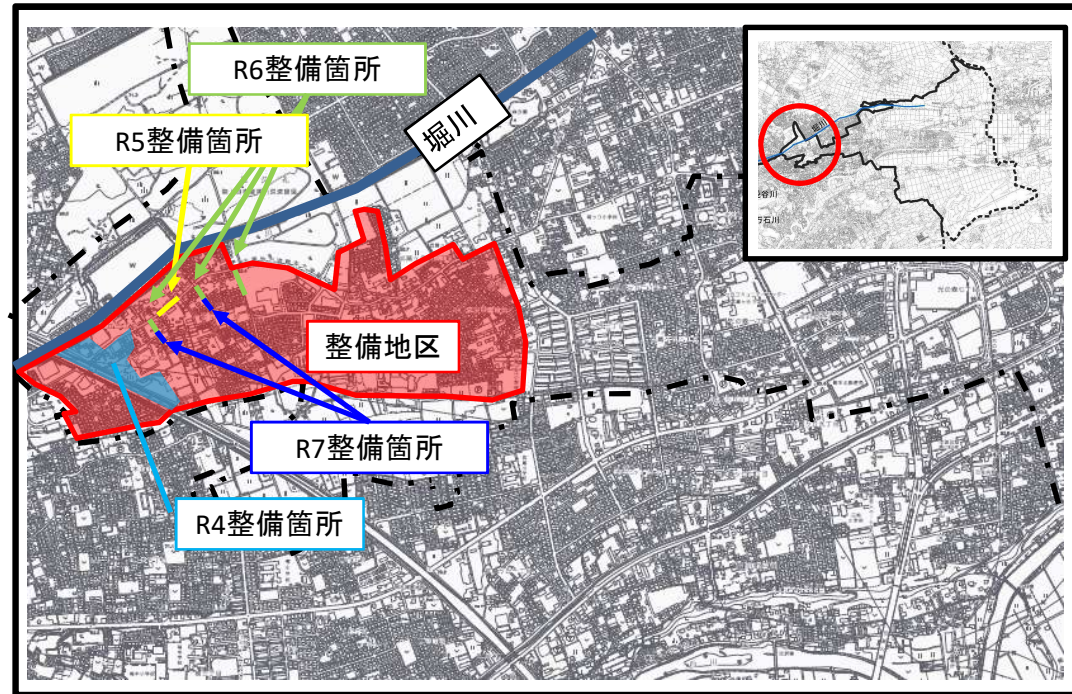
(菊陽町)

○下水道による雨水排水施設の整備

■R6年度の取組内容、進捗状況

○坪井川水系堀川の流域にある花立・武蔵ヶ丘北地区の内水対策として、雨水排水施設の整備により、浸水被害の解消を図る。

○右図のとおり、整備地区西側の雨水排水施設の整備を行った。



対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	下水道による雨水排水施設の整備			

■令和7年度の取組予定

雨水排水施設の整備を行い、浸水被害の解消に取り組む。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

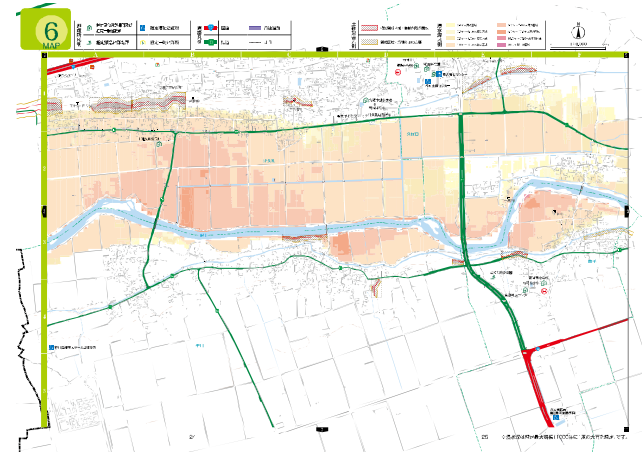
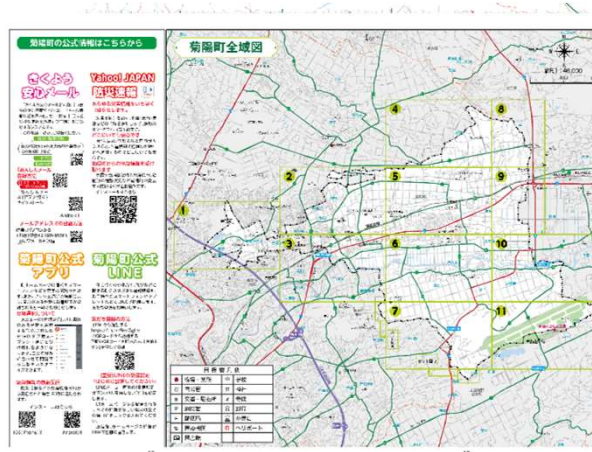
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

総合防災マップの更新・周知

(菊陽町)

- 菊陽町総合防災マップを更新し、令和4年度当初に最新の災害リスク情報(L2洪水、土砂災害等)を取り入れて全戸配布しました。
- WEB版を作成・公開し、新しい情報を掲載していきます。(下図は更新後)
- 水位計算手法の見直しによる解析データをWeb版に反映し、浸水エリア等を更新した。

■R6年度の取組内容、進捗状況



対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
総合防災マップの更新・周知	菊陽町総合防災マップ更新、全戸配布 WEB版を作成・公開()	R6時点		目標

■令和7年度の取組予定

- 更なる水害リスク情報の周知のため、WEB版ハザードマップの内容・機能の更新を予定。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

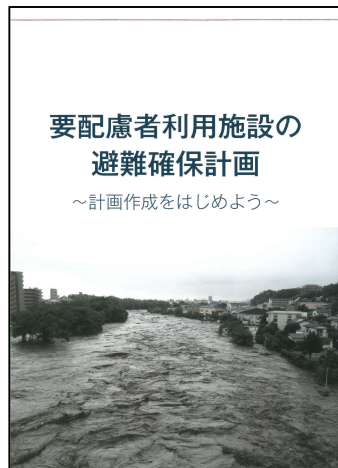
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

(菊陽町)

○洪水浸水想定区域内に存在し市町村の地域防災計画に位置付けられた要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成と避難訓練の実施を支援しました。

■R6年度の取組内容、進捗状況



災害発生時、洪水等の浸透や津波等の浸水想定に関する対策に基づき、避難確保、洪水時の避難の確保等を実施することとする。

また、国土地理院等による浸水想定区域図の公表により、本市域に多数の浸水想定区域が示されたこと、高齢者等が避難行動が困難な状況に陥るおそれがあること、避難確保の確保が重要であること等を踏まえ、避難確保計画の作成を促進し、特に避難確保の確保に努めるものとする。

施設名	進捗	備考
1 市民センター	完成済	完成済
2 市民会館	完成済	完成済
3 市民体育館	完成済	完成済
4 市民会館2号館	完成済	完成済
5 市民会館3号館	完成済	完成済
6 市民会館4号館	完成済	完成済
7 市民会館5号館	完成済	完成済
8 市民会館6号館	完成済	完成済
9 市民会館7号館	完成済	完成済
10 市民会館8号館	完成済	完成済
11 市民会館9号館	完成済	完成済
12 市民会館10号館	完成済	完成済
13 市民会館11号館	完成済	完成済
14 市民会館12号館	完成済	完成済
15 市民会館13号館	完成済	完成済
16 市民会館14号館	完成済	完成済
17 市民会館15号館	完成済	完成済
18 市民会館16号館	完成済	完成済
19 市民会館17号館	完成済	完成済
20 市民会館18号館	完成済	完成済
21 市民会館19号館	完成済	完成済
22 市民会館20号館	完成済	完成済
23 市民会館21号館	完成済	完成済
24 市民会館22号館	完成済	完成済
25 市民会館23号館	完成済	完成済
26 市民会館24号館	完成済	完成済
27 市民会館25号館	完成済	完成済
28 市民会館26号館	完成済	完成済
29 市民会館27号館	完成済	完成済
30 市民会館28号館	完成済	完成済
31 市民会館29号館	完成済	完成済
32 市民会館30号館	完成済	完成済
33 市民会館31号館	完成済	完成済
34 市民会館32号館	完成済	完成済
35 市民会館33号館	完成済	完成済
36 市民会館34号館	完成済	完成済
37 市民会館35号館	完成済	完成済
38 市民会館36号館	完成済	完成済
39 市民会館37号館	完成済	完成済
40 市民会館38号館	完成済	完成済
41 市民会館39号館	完成済	完成済
42 市民会館40号館	完成済	完成済
43 市民会館41号館	完成済	完成済
44 市民会館42号館	完成済	完成済
45 市民会館43号館	完成済	完成済
46 市民会館44号館	完成済	完成済
47 市民会館45号館	完成済	完成済
48 市民会館46号館	完成済	完成済
49 市民会館47号館	完成済	完成済
50 市民会館48号館	完成済	完成済
51 市民会館49号館	完成済	完成済
52 市民会館50号館	完成済	完成済
53 市民会館51号館	完成済	完成済
54 市民会館52号館	完成済	完成済
55 市民会館53号館	完成済	完成済
56 市民会館54号館	完成済	完成済
57 市民会館55号館	完成済	完成済
58 市民会館56号館	完成済	完成済
59 市民会館57号館	完成済	完成済
60 市民会館58号館	完成済	完成済
61 市民会館59号館	完成済	完成済
62 市民会館60号館	完成済	完成済
63 市民会館61号館	完成済	完成済
64 市民会館62号館	完成済	完成済
65 市民会館63号館	完成済	完成済
66 市民会館64号館	完成済	完成済
67 市民会館65号館	完成済	完成済
68 市民会館66号館	完成済	完成済
69 市民会館67号館	完成済	完成済
70 市民会館68号館	完成済	完成済
71 市民会館69号館	完成済	完成済
72 市民会館70号館	完成済	完成済
73 市民会館71号館	完成済	完成済
74 市民会館72号館	完成済	完成済
75 市民会館73号館	完成済	完成済
76 市民会館74号館	完成済	完成済
77 市民会館75号館	完成済	完成済
78 市民会館76号館	完成済	完成済
79 市民会館77号館	完成済	完成済
80 市民会館78号館	完成済	完成済
81 市民会館79号館	完成済	完成済
82 市民会館80号館	完成済	完成済
83 市民会館81号館	完成済	完成済
84 市民会館82号館	完成済	完成済
85 市民会館83号館	完成済	完成済
86 市民会館84号館	完成済	完成済
87 市民会館85号館	完成済	完成済
88 市民会館86号館	完成済	完成済
89 市民会館87号館	完成済	完成済
90 市民会館88号館	完成済	完成済
91 市民会館89号館	完成済	完成済
92 市民会館90号館	完成済	完成済
93 市民会館91号館	完成済	完成済
94 市民会館92号館	完成済	完成済
95 市民会館93号館	完成済	完成済
96 市民会館94号館	完成済	完成済
97 市民会館95号館	完成済	完成済
98 市民会館96号館	完成済	完成済
99 市民会館97号館	完成済	完成済
100 市民会館98号館	完成済	完成済
101 市民会館99号館	完成済	完成済
102 市民会館100号館	完成済	完成済

- 浸水想定区域に位置する要配慮者利用施設及び土砂災害警戒区域に位置する要配慮者利用施設に対して避難確保計画の作成促進と避難訓練の実施を支援した。
- 避難確保計画は、全17施設で作成完了。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成と避難訓練の実施支援。	R6時点		目標

■令和7年度の取組予定

- 浸水想定区域及び土砂災害警戒区域に位置する要配慮者利用施設の更新。
- 全施設において、避難確保計画作成および避難訓練実施を支援する。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

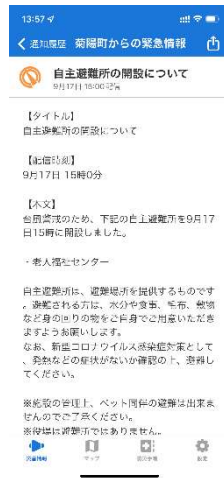
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

情報伝達の迅速化・多重化
災害時の地域公民館活用(耐震診断改修工事)

(菊陽町)

○防災無線や登録制メールの「きくよう安心メール」、Yahoo!防災速報アプリなどにより、迅速に災害情報等を住民に伝えます。また、災害時に安心して避難できるよう、地区公民館の耐震補強工事を支援します。

■R6年度の取組内容、進捗状況



菊陽町地区公民館耐震改修事業

- 地域公民館の耐震診断においては、過年度実施済み。
- 令和6年度においては、耐震改修設計はなかった。
- 4行政区において、耐震改修工事はなかった。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
情報伝達の迅速化・多重化 災害時の地域公民館活用(耐震診断改修工事)	防災無線や登録制メール、Yahoo!防災速報などにより、災害情報等を伝える。 地区公民館の耐震補強工事の支援。	R6時点		目標

■令和7年度の取組予定

- 行政区からの要望に基づき、4行政区の耐震改修工事設計を実施予定。
- 行政区からの要望に基づき、5行政区の耐震改修工事及び監理を実施予定。
- 75才以上の希望する家庭に対し個別受信機を貸与予定

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

森林の有する公益的機能の発揮に向けた森林整備・保全(水源涵養機能等の強化)

【熊本県、大津町】

○森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、熊本圏域二級河川上流域の森林において、間伐等の森林整備を実施しました。(実施市町村：熊本市、大津町)

■R6年度の実施内容、進捗状況



保育間伐(整備前)



保育間伐(整備後)

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
・森林の整備・保全(保育間伐、間伐、枝打ち、植付、下刈等)	保育間伐	R6時点		目標

■令和7年度の実施予定

森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、山地災害危険地区や熊本圏域二級河川上流域等の森林を主体として、再生林や間伐等の森林整備を実施予定。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

調整池の浚渫等、護岸確認、補強工事

(大津町)

○調整池等の浚渫、調整池の浚渫等、護岸確認、補強工事

■R6年度の実施内容、進捗状況

- 適宜調整池等の浚渫実施
- 護岸確認及び補強工事検討



対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
調整池等の浚渫	適宜調整池等の浚渫、護岸確認	R6時点		目標

■令和7年度の実施予定

- 適宜調整池等の浚渫実施
- 護岸確認及び補強工事検討

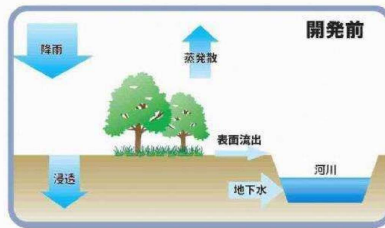
白川水系流域治水プロジェクト 【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

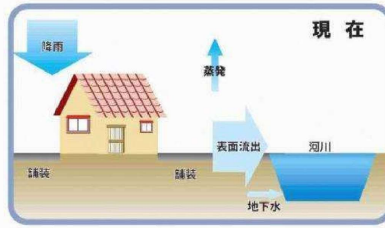
流域の雨水貯留機能向上

(大津町)

一定規模以上の開発行為に対する雨水貯留施設設置指導及び雨水貯留施設の設置補助を行う。



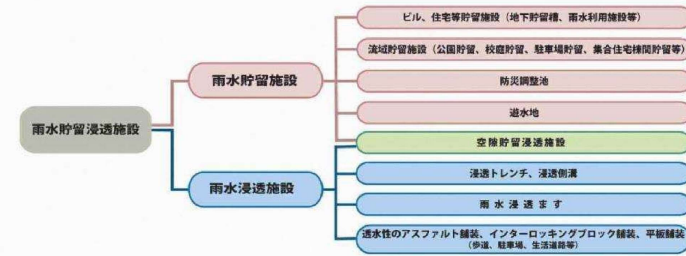
市街化が進む前は、降った雨の多くが地中へいったん浸透し、その後、木の葉や地表面から蒸発したり、長い時間をかけて川や泉に湧き出したりしていたため、地表から川に流れ込む表面流出量は抑えられていました。



市街化が進むと、屋根や舗装など、雨が浸透しにくい場所が増え、短時間に地表から下水道等を経由して川に流れ込む表面流出量が増加し、水害が発生しやすくなります。
また、地中に浸透する水の量が減るため、晴れた日が続くと川の流量が減ったり、湧き水が涸れたりすることが多くなります。



雨水貯留浸透施設による対策を進めると、降雨時の表面流出量を抑制し水害の防止につながります。
地中に浸透する水の量が増えるため、晴れた日が続いても川の流量が減ったり湧き水が涸れたりすることが少なくなります。
貯留した雨水は水まき、洗車等に有効利用できます。



出典：国土交通省HP

令和6年度時点の取組進捗状況

・令和6年度の雨水浸透柵設置申請に対し、1件(1基)の補助を実施。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能の向上	雨水浸透柵設置補助事業、開発事業等指導要綱に基づく浸透柵設置等の指導を実施している。	R6時点		目標

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地の水害リスク情報の充実

(大津町)

○情報伝達の迅速化・多重化(防災行政無線における災害緊急情報の周知(メール・公式ライン・HPと連動))

■R6年度の実施内容、進捗状況

防災行政無線を活用して避難情報等を早期発信
 令和5年度に難聴地域に対して新型スピーカーを導入
 また、難聴地域に対して防災行政無線を新設。
 令和6年度は、防災行政無線、メール、公式ライン、HPを活用して防災情報を発信。



対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
土地の水害リスク情報の充実	情報伝達の迅速化・多重化(防災行政無線における災害緊急情報の周知(メール・公式ライン・HPと連動))	R6時点		目標

■令和7年度の実施予定

防災行政無線の難聴地域での調整、迅速な避難情報等の早期発信

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

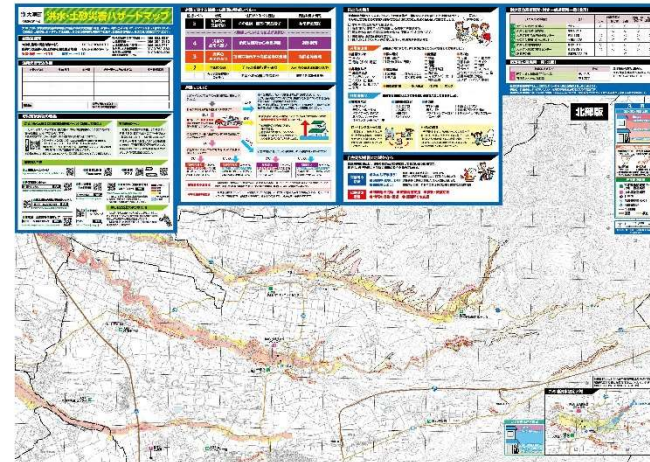
避難体制等の強化

大津町

○大津町ホームページで公表されている大津町洪水等ハザードマップには、最新の災害リスク情報（水害、土砂災害等）を取り入れて随時更新し、WEB公開や戸別配布等により広く住民への周知を図ります。

■R6年度の実施内容、進捗状況

令和5年度に町管理河川の洪水浸水想定区域を新たに設定したハザードマップを作成し、全戸配布。
令和6年度もハザードマップを周知・活用して災害に備える。



対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	大津町ホームページで公表されている大津町洪水等ハザードマップには、最新の災害リスク情報（水害、土砂災害等）を取り入れて随時更新し、WEB公開や戸別配布等により広く住民への周知を図ります。	R6時点		目標

■令和7年度の実施予定

更新したハザードマップを住民周知、災害時における対応検討。

熊本圏域二級水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

森林の有する公益的機能の発揮に向けた森林の整備・保全

熊本森林管理署

○森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、二級水系流域の森林を主体とし、間伐等の森林の整備・保全を推進。

■R6年度の取組内容、進捗状況

○熊本圏域二級水系流域の森林整備を主体として植栽等の実施



植付前



植付後



下刈前



下刈後

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
森林の整備・保全	森林の整備・保全	R6時点		目標

■令和7年度の取組予定

○森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、二級水系流域の森林を主体とし、引き続き、間伐等の森林整備・保全を推進します。